荒川は埼玉県のどのあたりを流れているんだろう？

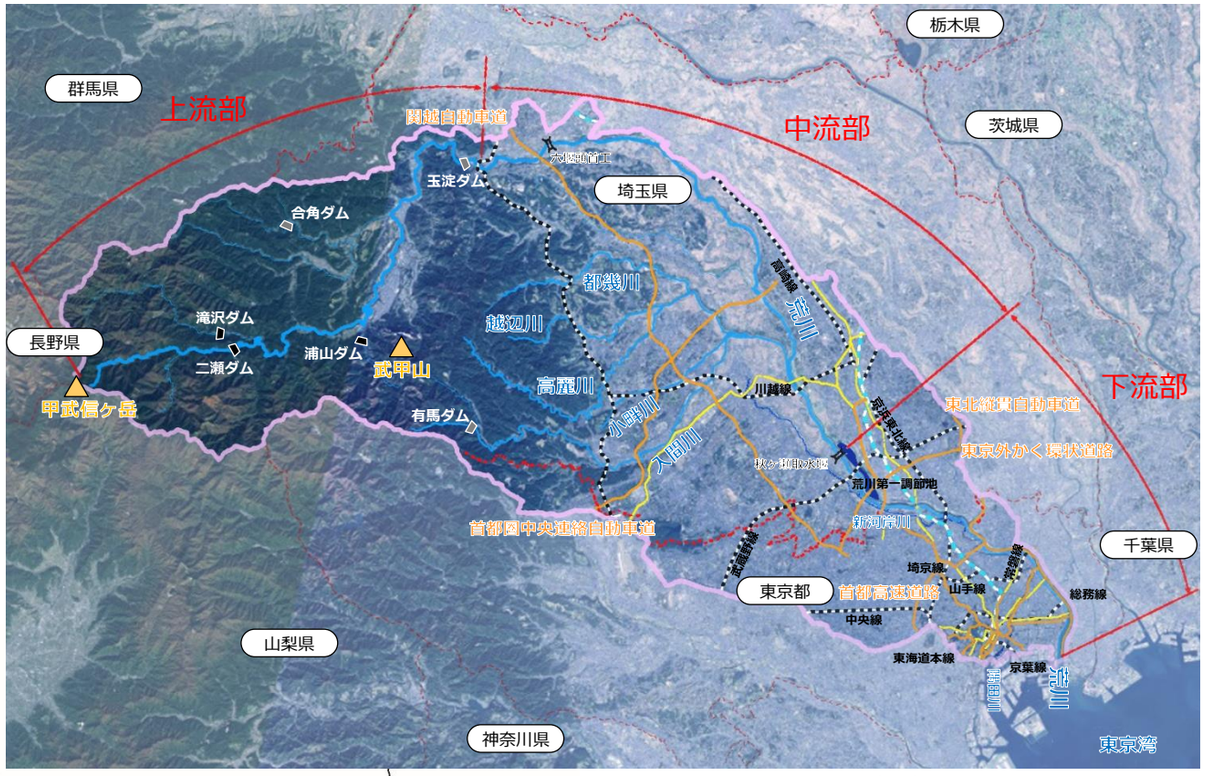
地図で見る荒川

空からみた荒川を、地図のうえで調べてみましょう。

荒川は、埼玉県と長野県、山梨県の県境にある甲武信ヶ岳から流れだし、120近くある支川の水を集めながら、埼玉県の中央部を西から東へ抜け、東京都の東部を流れて東京湾にそそぎこみます。

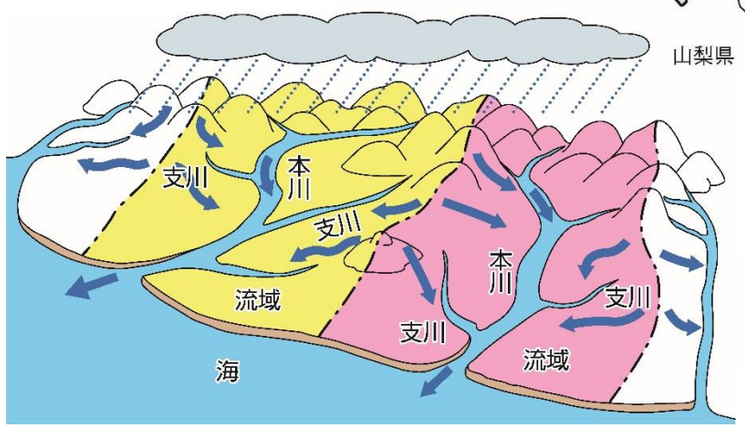
荒川の流域は、埼玉県と東京都にまたがり、その面積は約2940㎢です。そのうち埼玉県にかかわる面積は、約2440㎢で、埼玉県の全面積のほぼ3分の2をしめています。

このように荒川は、埼玉県とのつながりが深いことから、埼玉県では「母なる川」と呼ばれています。



▲宇宙から見た荒川とその流域

流域とは‥‥降った雨がその川に集まってくる区域のことです。
支川とは‥‥本流に流れこむ川や本流から分かれて流れる川のことです。



流域と支川

川の豆知識

「荒ぶる川」が名前の由来

「母なる川」である荒川は、大雨のあとなどには、洪水となり、かつてはそのたびに災害をもたらしてきました。そのようすを、むかしの人が「荒ぶる（あばれている）川」といったことから、荒川という名前で呼ばれるようになりました。